				ひいっち サロ ロー	- <<< 士・・ 文 = 田	ᅷᆞᆇᆙ	1+0 11/	2 12 ++	
PDCA	事務事業名	公共交通対策事業	部課等名	総務部 犯担当	災交通課	父进阞	担当 内線等	浅井 286	
		章: 第4章 安全で快	」 協に住み続け		1		内脉守	[200	
Р	政策体系	節: 第2節 都市基盤		210065	<u>, </u>				
		基本施策: 3. 交通体系							
総	DO A PT-7K	単位施策: (5)公共交通の							
		個別施策: 1路線バスの維持							
合計画との関係性等	根拠法令等	半田市公共交通会議設置要綱							
	対象・目的	少子高齢化や単身世帯増加など、時代背景から予測される移動重要の高 市民のくらしの足の維持確保を目的に地域公共交通の整備と利用促進に						据え、	
	目的を達成 するための 手段・活動 内容	市民の移動時手段の一つとして、公共交通バスの運行を維持確保する。地区路線バス「ごんくる」3路線の運行と市内乗合事業者の運行する基幹路線バスへの運行経費等補助を実施するとともに、利便性の確保のため、運行に関する環境整備や情報発信を図る。							
	活動結果	活動実績			H30年度	R1年度	R2年度	単位	
D		①補助対象路線数			5	5		路線	
_		②市民アンケート等ニーズ	調査		1, 319	1, 545	5, 569		
前		③地域における話し合いの			10	36	31	回	
年				事業費	83, 450		115, 499	子円	
度				人件費	5, 226	5, 793	7, 563	千円	
$\widehat{\sigma}$				総事業費		94, 827	123, 062	千円	
の活動結果と見られ		活動単位当たりのコスト			H30年度	R1年度	R2年度	単位	
動		①補助対象路線利用者1人当力			327. 0	212. 1		円/人	
SU 幺士		②半田市民1人当たりにかた	<u>、る市費投入額</u>	Į	698. 7	790. 9	1, 026. 5	円/人	
阳									
未し	成果	成果指標			H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①バス利用者数		実績値	925	1, 221	831		
兄				目標値	1, 158	1, 600	1, 700	人/日	
b					1, 100	1, 000	1, 700		
				実績値				1	
た				目標値					
成				実績値					
果				目標値				1	
	観点別評価	N - T lul							
C 課題		必要性		有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性 妥当	┗ 4 上位施策へ	の貢献		⑦コストi	削減余地	あ	
		②市民ニーズ 高し	<mark>ヽ</mark> ⑤成果向上の		ある		※対象・	手段の変	
題		の仕席 しの 単郷 しょ・				② 马 大 孝 台 t	旦適正化余地		
			、 ⑥類似事業の	有無	ない	◎文重1頁1			
の整理	事業の 評価・課題	B 平成30年3月30日に策定した「半施し、再編後、路線改善や利用現金和2年度には、バス停の待合環抗ウイルス対策を実施するなど、となっていた岩滑地区に地区路線的な課題となっている交通空白地	田市地域公共交通 環境の向上に取り 境の改善をはじめ バス環境の向上・ ミバスB(岩滑小	通網形成計画 組んできた。)、コロナ禍 や利用促進を 線)を導入し	」により、同 こ対応しコミ ・図った。ま ・、新たな交	同年10月に足 ミュニティノ た、令和2年	各線バスの大 バス車内にお F10月には交	ける抗菌 通空白地	
の 整理 	サベジ	B 平成30年3月30日に策定した「半施し、再編後、路線改善や利用環 令和2年度には、バス停の待合環 抗ウイルス対策を実施するなど、となっていた岩滑地区に地区路線	田市地域公共交通 環境の向上に取り 境の改善をはじめ バス環境の向上・ ミバスB(岩滑小	通網形成計画 組んできた。)、コロナ禍 や利用促進を 線)を導入し	」により、同 こ対応しコミ ・図った。ま ・、新たな交	同年10月に足 ミュニティノ た、令和2年	各線バスの大 バス車内にお F10月には交	ける抗菌	
の整理 A 課題解	サベジ	B 平成30年3月30日に策定した「半施し、再編後、路線改善や利用現金和2年度には、バス停の待合環抗ウイルス対策を実施するなど、となっていた岩滑地区に地区路線的な課題となっている交通空白地	田市地域公共交通 環境の向上に取り 境の改善をはじめ バス環境の向上・ シズスB(岩滑小り がス解消に向け) を促進すべく、 報域の解消を 地域の解消を 地域の解消を	組網形成計た。 組組んコールできた禍を が利用を導んでいる。 バス会ため、 でスをめ、	によ がなたない 一協成 しょう しょう しょう しょう しゃく いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	司年10月に ミュニティ/ た、令和24 通手段を確 システム(シス広報穂地 に で い い で が が が が が が が が が が が が が が が が	A線バスの大 バス車内には交 保した。今行 の運用 地 が が の が が が が が が が が が が が が が	はる抗菌地質も、維クションの	
の整理 🗡 🙏 課題解決	評価・課題	B 平成30年3月30日に策定した「半施し、再編後、路線改善や利用現金を利力では、バス停の待合環境のイルス対策を実施するなど、となっていた岩滑地区に通空的な課題となっている交通空の地域充推進 既存路線については、利用また、引き続き、有脇地区入するとともに、有脇地区	田市地域公共交通 環境の向上に取り 境の改善をはじめ バス環境の向上・ シズスB(岩滑小り がス解消に向け) を促進すべく、 報域の解消を 地域の解消を 地域の解消を	組網形成計た。 組組んコールできた禍を が利用を導んでいる。 バス会ため、 でスをめ、	によ がなたない 一協成 しょう しょう しょう しょう しゃく いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	司年10月に ミュニティ/ た、令和24 通手段を確 システム(シス広報穂地 に で い い で が が が が が が が が が が が が が が が が	A線バスの大 ドスの大 ドスの内には交 ドスの内には交 にはの 原した。今 の が の の の の の には の の の の の の の には の の の の の の の の には の の の の の の には の の の の の の の に の の の に の の の に の の に の の の に の の の の に の の の の の の の の の の の の の	ける点は、活動を表現である。	
の整理 📕 🛕 課題解決の	評価・課題	B 平成30年3月30日に策定した「半 形は、再編後、路線改善や利用環 を和2年度には、バス停の待合など、 抗ウイルス対策を実施するなど、 となっていた岩滑地区区交通空白地 拡充推進 既存路線については、利用 また、引き続き、有脇地区 成果指標	田市地域公共交通 環境の向上に取り 境の改善をはじめ バス環境の向上・ シズスB(岩滑小り がス解消に向け) を促進すべく、 報域の解消を 地域の解消を 地域の解消を	組網形成計た。 組組んコールできた禍を が利用を導んでいる。 バス会ため、 でスをめ、	によ がなたない 一協成 しょう しょう しょう しょう しゃく いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	司年10月に ミュニティ/ た、令和24 通手段を確 システム(シス広報穂地 に で い い で が が が が が が が が が が が が が が が が	A A A A A A A A A A A A A A	ける抗直のは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	
の整理 📕 🗚 課題解決のた	評価・課題 今後の事業 の方向性	B 平成30年3月30日に策定した「半施し、再編後、路線改善や利用現金を利力では、バス停の待合環境のイルス対策を実施するなど、となっていた岩滑地区に通空的な課題となっている交通空の地域充推進 既存路線については、利用また、引き続き、有脇地区入するとともに、有脇地区	田市地域公共交通 環境の向上に取り 境の改善をはじめ バス環境の向上・ シズスB(岩滑小り がス解消に向け) を促進すべく、 報域の解消を 地域の解消を 地域の解消を	組網形成計た。 組組んコールできた禍を が利用を導んでいる。 バス会ため、 でスをめ、	によ がなたない 一協成 しょう しょう しょう しょう しゃく いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	司年10月に ミュニティ/ た、令和24 通手段を確 システム(シス広報穂地 に で い い で が が が が が が が が が が が が が が が が	A A A A A A A A A A A A A A	ける抗性を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	
の整理 🖊 課題解決のため	字価・課題 今後の事業 の方向性 令和3年度	B 平成30年3月30日に策定した「半 形は、再編後、路線改善や利用環 を和2年度には、バス停の待合など、 抗ウイルス対策を実施するなど、 となっていた岩滑地区区交通空白地 拡充推進 既存路線については、利用 また、引き続き、有脇地区 成果指標	田市地域公共交通 環境の向上に取り 境の改善をはじめ バス環境の向上・ シズスB(岩滑小り がス解消に向け) を促進すべく、 報域の解消を 地域の解消を 地域の解消を	組網形成計た。 組組んコールできた禍を が利用を導んでいる。 バス会ため、 でスをめ、	によ がなたない 一協成 しょう しょう しょう しょう しゃく いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	司年10月に ミュニティ/ た、令和24 通手段を確 システム(シス広報穂地 に で い い で が が が が が が が が が が が が が が が が	A A A A A A A A A A A A A A	ける抗性を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	
の整理 🖊 課題解決のた	評価・課題 今後の事業 の方向性	B 平成30年3月30日に策定した「半 形は、再編後、路線改善や利用環 を和2年度には、バス停の待合など、 抗ウイルス対策を実施するなど、 となっていた岩滑地区区交通空白地 拡充推進 既存路線については、利用 また、引き続き、有脇地区 成果指標	田市地域公共交通 環境の向上に取り 境の改善をはじめ バス環境の向上・ シズスB(岩滑小り がス解消に向け) を促進すべく、 報域の解消を 地域の解消を 地域の解消を	組網形成計た。 組組んコールできた禍を が利用を導んでいる。 バス会ため、 でスをめ、	によ がなたない 一協成 しょう しょう しょう しょう しゃく いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん いっぱん かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく かいがく	司年10月に ミュニティ/ た、令和24 通手段を確 システム(シス広報穂地 に で い い で が が が が が が が が が が が が が が が が	A A A A A A A A A A A A A A	ける抗直のは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	